

胃癌 28

対象疾患: 胃癌

【0328】ニボルマブ+Xelox 療法

【投与スケジュール】 1コース=21日(3週)

1コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W
ニボルマブ	オプジーボ	Nivo,OPD	360mg/body	↓ Day1		
オキサリプラチン	エルプラット	L-OHP	130mg/m ²	↓ Day1		
【内服】 カペシタビン	カペシタビン	Cape	2400~4200mg/日	14日間服用 (Day1 夕~Day15 朝)		7日間 休薬

【注射薬投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	生理食塩液 50mL	1本	ルート確保用
②	オプジーボ点滴静注	360mg/body	30分以上かけて
	生理食塩液 100mL	64mL(全量 100mL)	
③	デカドロン 3.3mg/1mL	3管	30分
	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1本	
④	エルプラット	130mg/m ²	120分
	5%ブドウ糖液 500mL	1本	
⑤	生理食塩液 50mL	1本	ルートリンス

<オプジーボ>

インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること

CVポート使用時は、投与前にフラッシュを行うこと

【ゼローダ(300mg/錠)用法・用量】

体表面積	1日用量(mg)	1日用量(錠)	用法
1.36 m ² 未満	2400mg	8錠	1日2回 朝・夕食後 2週服用 1週休薬 (※2)
1.36 m ² 以上 1.66 m ² 未満	3000mg	10錠	
1.66 m ² 以上 1.96 m ² 未満	3600mg	12錠	
1.96 m ² 以上	4200mg	14錠	

(※)Day1 夕食後~Day15 朝食後服用、Day15 夕食後~Day22 朝食後休薬

催吐性	中等度リスク(30~90%)
組織傷害性	エルプラット:炎症性抗がん剤

	オブジーボ:非炎症性抗がん剤
代表的副作用	オブジーボ 間質性肺炎、大腸炎・重度の下痢、免疫性血小板減少紫斑病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓塞栓症、重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症、1型糖尿病、肝機能障害・肝炎・硬化症胆管炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、 Infusion reaction
	エルプラット >10%…悪心、嘔吐、末梢神経障害、感覚異常、疲労 1~10%…アレルギー反応
	カペシタビン >10%…悪心、食欲不振、下痢、口内炎、手足症候群、骨髄抑制

【注意事項】

(オブジーボ)

- 患者選択に当たっては初回投与前チェックリストで投与の可否を判断すること
- 調製後は速やかに投与を開始すること
- CVポート使用時は、投与前にフラッシュを行うこと

(カペシタビン)

- レジメンセットに組んでありません。別途処方入力してください

(エルプラット)

- 塩化物を含む輸液との配合を避ける(溶解液は5%ブドウ糖液のみ可)
- 塩基性溶液との混和もしくは同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと

レジメン登録承認	2021年12月14日 化学療法委員会
参考資料	ATTRACTION-4 試験 CheckMate649 試験